

事業所における自己評価結果（公表）

事業所名 放課後等デイサービス イッピー！

公表：令和7年3月31日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫 している点など	課題や改善すべき点を踏ま えた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの 関係で適切であるか	○			ワンフロアのため、 刺激の多さがありパー テーションにより区分 けをしている。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○			送迎時の添乗者の配置 や室内の複数職員の配 置を行っている。	
	③	事業所の設備等について、バリアフ リー化の配慮が適切になされているか	○				
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイク ル（目標設定と振り返り）に、広く職員 が参画しているか		○		連絡ノートの活用によ り全体周知に努めて いる。	業務改善に繋がってい ない点もあり、振り返りや話 し合いの機会を設ける必 要がある。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によ りアンケート調査を実施して保護者 等の意向等を把握し、業務改善につな げているか		○		取り組めることから 着手するよう心 掛けている。	職員間で共有する機会が 少ないため、計画的に進 めていく必要がある。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会 報やホームページ等で公開しているか	○				事業所としての取り組む べき方針を公表する必要 がある。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結 果を業務改善につなげているか			○		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修 の機会を確保しているか		○		感染防止対策、虐待防止 （身体拘束）研修に加え、 障害特性の研修、外部研 修へ参加した。	引き続き定期的に研修の 機会を設けていく。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保 護者のニーズや課題を客観的に分析した 上で、個別支援計画を作成しているか	○			計画相談や医療・療育・ 教育機関におけるアセ スメント内容を参考にしな がら事業所で計画作成を している。	保護者の方からプロフィール シートを頂く等の工夫をして いる。
適切な支 援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、 標準化されたアセスメントツールを使用 しているか		○			職員間での共有が薄く、全体 で確認しあう機会が必要。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っ ているか		○		子どもの自発性・自主性 を大事にし、一人ひとりの ニーズ状況により進めて いる。	計画的に立案できるよう 進めていく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫 しているか		○			工夫していない時もあるた め、計画的に進めていく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を きめ細やかに設定して支援しているか		○		個々の子どものニー ズ、状況を見極めて設 定している。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集 団活動を適宜組み合わせる個別支援 計画を作成しているか		○		個々の子どものニー ズ、その日のコン ディション等を前提 に考えている。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の内容や役割分 担について確認しているか	○				ミーティング、コミュニケー ションの機会を設けていけ るようさらに工夫する。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行 い、気付いた点等を共有しているか		○		十分に振り返られてい ない。連絡ノート等を 用いて共有できるよ う工夫はしている。	連絡ノートの活用を続け、 コミュニケーションも図れ るようにしていく。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		保護者への連絡帳とサービス提供記録が一致になっている。	十分な改善には至っていないため、改善に向けた取り組みが必要。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか		○			職員間での共有が不十分なため、確認・共有の時間を作る。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○				
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		基本的には、児童発達支援管理責任者が出席するようにしている。		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○				
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	受け入れを実施していない。	設備、職員体制上今後も受け入れが難しいと思われる。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	必要に応じて対面・電話・書面等により引き継いでいる。		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		保護者面接等を通じて、支援計画書とともに引き継ぎ書を作成している。		
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	研修への参加を実施した。	連携の機会が無いため、必要に応じて情報共有していきたい。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		公共施設（公園等）の外出以外に、今後児童館等を利用していけるよう計画する。	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		定期的に自立支援協議会に出席している。	職員への周知等が不十分のため、今後は情報共有を図っていく。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		日常的に連絡帳、必要に応じて電話、面談を通じて共有を図っている。		
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか				○		
		⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○			
		㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○			

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者交流の場等は未着手となっている。	今後何らかの形で交流の機会を設けていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			今のところ苦情はないが、常にアンテナを張って細かな意見にも耳を傾けるようにしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	ホームページ・Instagramの発信を行っている。	引き続き定期的な更新も含め周知していく。
	35	個人情報に十分注意しているか			○		連絡帳の入れ間違い等が生じたことがあり、以降ダブルチェック等を徹底するようにしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		必要に応じて地域との関りを進めていく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	策定はしているが、周知が不十分である。	周知できるようにしていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○		実施に努めたが不十分であるため、非常災害に備えて定期的実施する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			全体研修等で動画等を活用して実施している。	常に意識できるように日常から心がけていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	○				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	ヒヤリハットに関しては、十分な協議がなされていないため、今後の対応は必要となっている。	事例を上げながら職員全体の共有を図っていく。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者アンケートを含めた令和7年度の重点課題	
①	保護者の方々に事業所にお越しいただき、日頃の子どもの取り組みや成果物等をご覧いただく機会を作り、保護者の方同士の交流の機会を作る。
②	災害時等の緊急時における取り組みについて保護者の方々に周知するとともに、避難訓練等を計画的・定期的実施する。